


# 構

五年

画数 14

筆順  
オオオオオ  
構構構構  
コウ  
かまじえるじう

成り立ち

  
材木を組み合わせ、組み立てた形の「冫」と、「木」とを組み合わせて作った字です。

「材木を『組み立てる』ことを表した字です。今では「木」に関係なく、『組み立てる』または『組立て』の意味に使われています。例 構成、構造、構図、構想、機構。『組み立て』のことを『構え』と言いますが、『構える』とか、『構う』という使い方をするようにになりました。また、『身構え』という使い方もあります。また、「『お構いもありません』とか、「女の子を構う」とか「構わない、構う」という使い方もします。

使い方

▽ぼくは機械類を見ると、その構造がどうなっているか知りたくなります。ぼくは大きくなったら、色々な機構を勉強して機械技師になりたいと思います。  
▽わたしは、絵を見て歩くのが好きです。絵は一枚一枚、構成が違います。よくこんな構図を思いつけたなと感心する絵もあります。わたしも、何枚か絵を書いていますが、一枚でも、気に入った絵が書けたらいいな、と思います。

熟語例

- ▽構成(組み立て。また、組み立てたもの)
- ▽構造(組み立て。作り)
- ▽構図(芸術作品などで、配置を考えて決めた図。配置具合)
- ▽構想(考えを組み立てること。また、その組み立てられた考え。「雄大な構想を持った小説」などというふうに、つかいます。)
- ▽機構(機械の構造。「精巧な機構のからくり時計が流行している」などというふうに、つかいます。)

使い方

▽ぼくは歴史の本を読むのが好きです。色々な国の興亡のありさまを読むと、興奮して、胸がわくわくします。  
▽わたしは絵本に興味があります。世界中の色々な絵本を集めるのが趣味です。国によって、絵も実にさまざまです。絵本には限りない感興があります。

熟語例

- ▽興隆(物事が盛んになること。)
- ▽興亡(興ることと亡びること。)
- ▽興廃(興ることとすたれること。)
- ▽振興(物事を盛んに興すこと。)
- ▽復興(一度衰えたものが、また盛んになること。)
- ▽再興(衰えていたものが、また興ること。「お国を再興させた名君」などというふうに、つかいます。)
- ▽感興(おもしろみ。興がわくこと。)
- ▽興趣(おもしろみ。おもしろく、趣きがあること。「この一枚の風景画に、何とも言えない興味を感じた」などというふうに、つかいます。)
- ▽余興(宴会などでおもしろみをそえるためにする演芸)

# 興

五年

画数 16

筆順  
フフフ  
コウ・キョウ  
おこりるじう

成り立ち

  
四つの手の形を表した「同」と、「心」とを組み合わせて作った字です。

「多くの人が心を同じにして、手を働かせる」ことを表した字です。「共同」して一つの仕事に当たることです。そうすれば、かならず成功して、仕事が盛んになりますので、「盛んになる(おこる)」という意味を表します。例 興隆、興起、興亡、興廃。

「盛んにする(おこす)」という意味に使います。例 振興、復興、再興。  
また、「気分が高まる」ことから、「おもしろい」という意味にも使われます。例 感興、興趣、余興。この場合は、呉音でキョウと発音します。